

## 世界一の移動通信研究開発拠点に



NTT DoCoMo R&D センタは、3研究所5開発部からなり、約600人が研究開発を行っています。今の重要課題はIMT-2000の実用化ですが、更に将来の研究も手掛け、ワイヤレス研究所は主に後者に取り組んでいます。

YRPは日本でも稀な、いろいろな組織および参加国が混じっている巨大な研究者集団です。いや、まだ集団とは言えないかも知れません。

移動通信が幸運にも現在大きな発展期を迎え、今後も更なる伸びが期待されることから、YRPの未来には大きな可能性が秘められていると言えます。しかし世界を舞台にした開発競争は激しさを増し、安穩とはしてはられません。今のYRPの繁栄は過去の研究開発の産物であり、我々は次の発展

のプログラムを考えねばなりません。シリコンバレーなどいくつかのお手本があるかも知れませんが、目的や規模、構成員、文化といった違いがあり、YRPにはYRP独自のあり姿を模索する必要があります。いずれにしろ、YRPの中、あるいはYRPと外国と間での、競争と協調、言い換えると切磋琢磨とお互いのコミュニケーションの活発化が重要なキーワードだと思います。

幸い、YRPでは各種セミナーや懇親会などが他に比べてはるかに豊富に企画され、更なる発展へのお膳立ては準備されています。具体的な研究企画もあります。世界一の移動通信研究開発拠点になるのは容易ではありませんが、「3人よれば文殊の知恵」という諺に従い、1つの研究者集団として一緒に将来について考えて行こうではありませんか。

始めにも申しましたようにNTTドコモは、近未来だけでなく長期的な移動通信の研究開発も進めています。それは多分野の方々との知恵と情報の交換が不可欠であり、皆様の御支援・御協力を是非共よろしくお願い致します。

NTT移動通信(株) 取締役 ワイヤレス研究所長  
横須賀リサーチパーク研究開発協議会企画グループ委員 中嶋信生

## 横須賀リサーチパーク研究開発協議会コーナー

横須賀リサーチパーク研究開発協議会等が今後開催を予定している主なイベントは以下のとおりです。詳細は、YRPニュースやYRPホームページ等でご案内させていただきますが、講演会等については積極的にご参加くださいますようお願いいたします。

開催日	イベント
9月16日	米国バージニア工科大学ラパポート教授 講演会
9月17日	URSI - F*会合 *国際電波科学連合F分科会 ロンドン大学キングスカレッジ アグバミ教授 講演会、 スウェーデン王立工科大学ザンダー教授 講演会
9月18日~10月1日	ヨーロッパ現地調査団派遣 (横須賀リサーチパーク推進協会、横須賀リサーチパーク研究開発協議会会員より構成)
9月21日~23日	WPMC'99 於:オランダ
10月29日	米国ミネソタ大学カヴェ教授 講演会
11月8日~12日	ITS世界大会(ITS研究開発実態調査)
11月	ベンチャーシンポジウム CIAJ*アジア電気通信産業交流 *通信機械工業会
12月	APT-ITS技術研修の受入
1月	最先端移動通信アジアワークショップ

## 横須賀リサーチパーク研究開発協議会コーナー(つづき)

### 研究開発協議会活動に関する意見要望調査

研究開発協議会では、10月から、今後の活動計画作成の基礎資料とするため、これまでの活動について会員に対する意見要望調査を実施させていただく予定です。

詳細が決まり次第、ご案内させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

### 第1回YRP計測シンポジウム

7月27日～28日の両日、YRPセンター1番館を会場に「第1回YRP計測シンポジウム」(MSMM '99 = Measurement System of Microwave & Millimeter wave)が、横須賀リサーチパーク研究開発協議会、横須賀リサーチパーク推進協会、(株)横須賀テレコムリサーチパークの3者共催、及び、IEEE COMSOC Tokyo chapterの協賛で開催されました。

今回のシンポジウムは、<次世代移動通信の計測技術>をテーマに、飛躍的発達を続ける移動無線の研究開発を支える計測技術について、研究者と測定システム提供者が互いに意見の交換を行い、相互の技術の更なる進化に寄与させることを目的に企画されたものですが、移動無線技術の権威者、慶應義塾大学中川正雄教授、及び、日本無線株式会社常務取締役平出賢吉氏の両名による基調講演と9件の発表があり、活発なディスカッションが行われ盛況でした。

また、シンポジウムに併催して最新測定システムの展示会も行われ、1番館のエントランスホールを会場に設営されたブースには、国内外の移動無線に関連する最新鋭の測定システムが一堂に展示され、1番館の電波暗室では59.5GHzの可変指向性4素子マイクロストリップ平面アレーアンテナの測定デモンストラレーションも行われるなど、多彩な催しであったが、シンポジウム参加者と併せて2日間で約700名の入場者を集め盛会でした。

研究開発者とそれを支える周辺の技術を組み合わせたシンポジウムは、これまでに例を見ない新しい試みでありましたが、今回成功を収めたことで、続いて同様な切り口によるシンポジウムの企画を現在研究開発協議会事務局で立案中であり、次は部品に焦点をあてて実施することを検討中です。

## 横須賀リサーチパーク推進協会コーナー

### トヨタ自動車名誉会長ご視察

先日発足しましたITS情報通信システム推進会議会長の豊田章一郎氏(トヨタ自動車名誉会長、経団連名誉会長)が、9月3日(金)、YRPを訪問されました。

当日は、YRPセンター1番館、松下通信YRP研究所、NTTドコモR&Dセンタ、オプトウェーブ研究所および郵政省通信総合研究所横須賀無線通信研究センター等をそれぞれご視察されました。

対応には、当協会の徳田会長を始め、各所幹部がそれぞれご案内にあたりました。(下記写真参照)



CRL大森センター長より  
ITS研究施設の説明を  
受けられる豊田名誉会長

## 横須賀リサーチパーク推進協会コーナー(つづき)

### 郵政省田中技術総括審議官ご視察

9月6日(月)、郵政省技術総括審議官の田中征治氏が、YRPを訪問され、域内の各施設をご視察されました。対応には、当協会の徳田会長、横須賀市の井上助役、横須賀リサーチパーク研究開発協議会の羽鳥会長を始め、各所幹部がそれぞれご案内にあたりました。(下記写真参照)



YRPセンター1番館  
エントランスホールにて  
YRP地区の説明を受け  
られる田中技術総括審議官

### 国内事例調査の実施について

当協会では、10月28日(木)~29日(金)に、国内事例調査を実施する予定です。  
札幌市内に集積するベンチャー企業等を調査する予定ですが、詳細が決まり次第、会員の皆様にはご案内させていただきます。

### 深夜急行バス 試験運行 ~YRPローズテリア前 23時10分発~

京浜急行は、9月27日(月)より10月1日(金)の間、横浜駅東口まで直通の深夜急行バスを試験運行します。運賃は2,000円で、乗車券の販売は10時から18時までは京急サポートセンター、18時以降はYRPセンター2番館1階警備室で行う予定とのことです。

## (株)横須賀テレコムリサーチパークコーナー

### YRP連絡会開催

9月10日午後2時からYRP連絡会が開催された。

当会は、YRPオープン直後の一昨年12月にYRPの全進出企業に呼びかけ、YRP地区のコミュニティ組織として発足の準備をすすめておりましたが、正式な発足には到っておりませんでした。今般、YRP進出企業の横のつながりが是非ほしいという要望もあり、再度お集まりいただき連絡会の発足が確認されました。

第1回目の今回は、会の名称を「YRP連絡会」とし、連絡会の規約を承認の後、役員を次のとおり選出しました。(会長以外のご担当者は後日、各社で調整)

会長	(株)横須賀テレコムリサーチパーク 代表取締役専務 斎藤 實
副会長	NTT移動通信網(株)
〃	(株)オプトウェーブ研究所
〃	松下通信工業(株)
幹事	京浜急行電鉄(株)
〃	富士通(株)
〃	日本電気(株)
〃	ノキア・ジャパン(株)
〃	セイコーエプソン(株)
会計監査	郵政省通信総合研究所
〃	NTTサイバーコミュニケーション総合研究所

### [当面の活動]

9月28日	12:30~	第2回環境美化運動	場所: YRP地区
10月22日	18:00~	YRP周年事業 コンサートの夕べ	場所: YRPセンター1番館
10月23日	10:00~	NTT横須賀研究開発センタ施設公開	場所: 通研

## 研究所紹介コーナー

このコーナーでは、Y R P地区に進出されている研究機関を毎回1～2機関取り上げて紹介します。今回は、松下通信Y R P研究所です。

### 松下通信Y R P研究所

松下通信Y R P研究所は松下通信工業(株)の移動体通信研究開発拠点として建設されました。1998年7月に竣工、8月より業務を開始しております。

#### [松下通信の移動通信への取組み]

日本の移動通信は1955年ごろの自動車電話開発からスタートし、80年代には第1世代のアナログ方式自動車携帯電話が普及、90年代に入ると第2世代のデジタル自動車携帯電話へと変わり、急速な普及を続けてきました。現在、世界中どこでも使える国際統一規格とモバイルマルチメディアをキーワードに、第3世代移動通信システム(IMT-2000)の開発が進められています。

松下通信では当初より自動車電話の開発に取組み、1979年にアナログ方式自動車電話の納入を開始しました。1991年からはデジタル自動車携帯電話の開発納入及び販売を行っております。また、基地局設備の一部である音声処理装置(SPE)の開発納入も行っております。

第3世代移動通信システムの研究開発につきましても早くから取組んでおり、(社)電波産業会(ARIB)の一員として標準化方式の提案、提案方式でのフィールド実験等を行っております。1997年にはNTTドコモ殿よりW-CDMA実験システムのトラック開発メーカーとして基地局系装置、移動局装置共に御選定いただき、第3世代システムの開発にもさらに拍車がかかっています。

現在は、第3世代システムの商用化に向けての開発を行うとともにこれに続く第4世代システムのための要素技術開発を行っております。また、大詰めとなった標準化活動にも力を注いでおります。

#### [松下通信Y R P研究所の組織体制]

松下通信Y R P研究所には、松下通信の移動通信に関連するメンバーが集結し、研究開発に従事しています。また、松下グループの関連各署からも多くの応援メンバーが来ています。図1に松下通信の移動通信に関連する主要組織を示します。

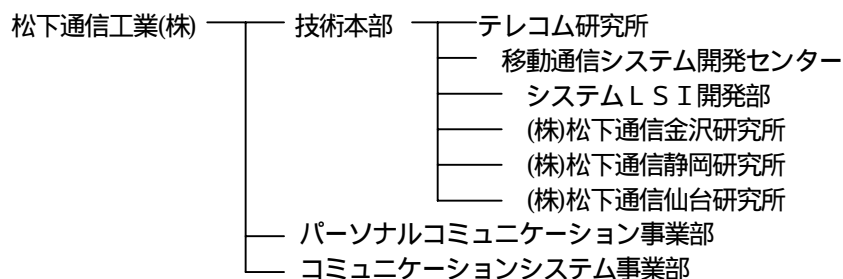


図1 松下通信の移動通信関連主要組織

松下通信Y R P研究所のメンバー一同は、世界に先駆けたモバイルマルチメディア技術を開発し、豊かな生活を提供できる魅力ある商品を創造することを目標に、全員一丸となって取組んでおります。

(本頁の紹介文は、松下通信工業(株)よりご提供いただいたものです)

編集・発行 横須賀リサーチパーク推進協会

〒239-0847 横須賀市光の丘5 TEL:0468-40-4100 FAX:0468-40-4101

横須賀リサーチパーク研究開発協議会

〒239-0847 横須賀市光の丘3-4 TEL:0468-47-5008 FAX:0468-47-5010

(株)横須賀テレコムリサーチパーク

〒239-0847 横須賀市光の丘3-4 TEL:0468-47-5000 FAX:0468-47-5010 <http://www.yrp.co.jp/>